



「2025年度駅業務関係施策(その2)について」 提案を受ける！

グループ経営ビジョン「勇翔2034」の実現に向け、安全を確保しつつ業務の効率化を図るため、以下の通り運営体制を見直す。

実施箇所および実施内容について

車掌用 ITV の整備により、車掌がお客さまの乗降を単独で確認できるようになることから、**駅社員による乗降終了表示を省略しホーム体制を見直す。**

- **東京駅 中央快速線 1・2番線ホーム** ……一般交代－2名
- **品川駅 横須賀線 13番線ホーム** ……一般変形－1名、一般交代－1名
- **新宿駅 中央快速線7・8、11・12番線ホーム** ……一般交代－3名

実施日 2026年3月14日※工事工程等によりスケジュールが変更となる場合がある。

その他 施策実施に向けて教育・訓練等の必要な準備を進めていく。

提案時の主なやり取り

施策実施後の各駅の当該ホームの体制について

東京駅…**電車担当が5徹→3徹へ。第1ホーム事務室を拠点**とし第2、第3ホームの対応(放送等)を行う予定。

品川駅…**一部時間帯は第7ホームに係員が詰める予定。**それ以外は輸送本部が放送等を行う。

新宿駅…**当務1名、営業2名体制となる。第4ホーム事務室を拠点**として第6ホームの対応(放送等)を行う。

施策実施に伴う設備や機器の変更について

東京駅…ITVは既に設置済み。**第1ホームから第2、第3ホームに対して放送ができるように機器を改修する。**

品川駅…**ITVは4か所設置する。**15両用、12両用はモニター4台、左端の1台を2分割した**5画面表示。**
11両用と6両などの短編成用はモニター2台、左端の1台を2分割した3画面表示となる。

新宿駅…ITVは既に設置済み。**第4ホーム事務室に第6ホームを写すモニターと列停監視盤を設置する。**

組合)「車掌がお客さまの乗降を単独で確認できるようになること」を実施の理由としているが、**単独で「安全」なドア扱いができることが前提でいいか。**

会社)**その通りだ。**

組合)新宿と東京駅は既にITVが整備されているがなぜ今なのか。

会社)中央線グリーン車導入により、お客さまの動きなどホーム上に変化があったためすぐにはホーム体制を見直さなかった。中央線グリーン車導入がお客さまに浸透したと考えたため、今回実施する。

組合)これまで立ち番の列注は義務化されていたのか。今後どうなるのか。

会社)進入に際しては義務化していない。**進出については法令上列車進出時のホーム上の安全の確保のため義務化していた。**今後は事務室でモニター越しにホームを確認してもらうが、**着座や監視は義務化しない。**

組合)立ち番は乗降終了表示掲出や放送以外にも、特に**列車接近～入線までの間や列車が在線していない時の安全の確保、ホーム上の治安の維持を担ってきた認識があるかどうか。**

会社)**認識は一致する。**

組合)この施策は**現場からの発意か。**

会社)**発意はモビサ。**提案をするにあたっては**現場の管理者にも相談をした上で実施可能の判断をしている。**

組合)3か所ともホームドアがない。**検知マットの増設等を考えているのか。ホーム上の安全は低下しないのか。**

会社)検知マットの増備は考えていない。列停のお客さま周知や遠隔での監視などで安全は保たれる。

組合)**通対時のホーム立哨社員の配置や時間帯別で乗降終了表示を出すことは考えているか。**

会社)箇所との調整により、混雑する時間等において社員を配置することや、縛りのない乗降終了表示を掲出することは**否定しない。**今後現場とコミュニケーションを図っていく考えである。